

すぎなみ保育緊急事態宣言

平成 28 年 4 月の区内待機児童数が 136 名（速報値※）となったこと、また、区内の認可保育所の整備が他区に比べて大幅に遅れている現状を踏まえ、ここに「すぎなみ保育緊急事態」を宣言します。

（※平成 28 年 4 月 15 日現在）

（1） このままでは、待機児童数が大幅に増加します

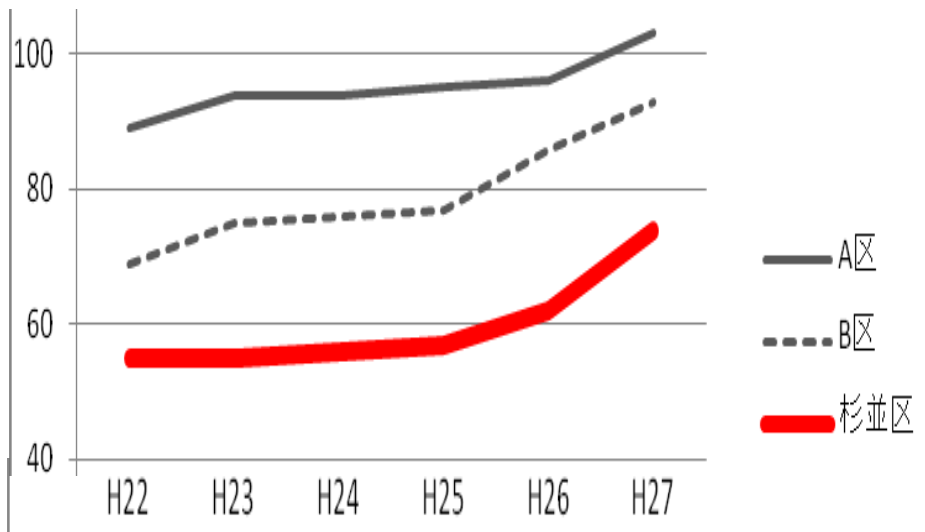
区は、平成 25 年に「待機児童対策緊急推進プラン」を策定し、平成 26 年度以降、これまでにないペースで認可保育所の整備を推進してきましたが、就学前人口の増加や女性の社会進出に伴う保育所入所希望者の高まりなどから、平成 28 年 4 月の待機児童数は 136 名（速報値）となり、昨年度より 100 名近い増加となりました。

平成 29 年 4 月の待機児童解消に向け、今年度は 1,000 名を超える保育施設整備を計画していましたが、新たに平成 29 年度に向けた待機児童数を推計したところ、今年度の既存の計画を実行しても、平成 29 年 4 月には、待機児童数が 500 名を超える大幅な増加となることを見込まれます。

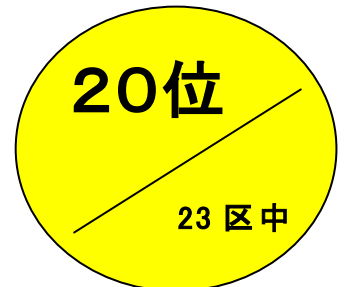
また、区では、急ピッチで認可保育所整備を進めているものの、認可保育所の整備率は、平成 27 年 4 月の時点で 23 区中 20 位と、他区と比べて整備が大幅に遅れています。整備のさらなる加速化によって認可保育所を増設することが不可欠です。

認可保育所数の推移

（人口程度が同規模の特別区との比較）



認可保育所整備率



（就学前児童人口に対する認可保育所定員数の割合）

(2) 待機児童ゼロに向け、聖域なき取り組みを進めます

平成 30 年度以降の保育需要も見据え、平成 28 年度中に既計画分に加え、さらに緊急対策として約 1,000 名の保育施設を整備し、合計で 2,000 名規模の整備を行います。整備に当たっては、以下の区立施設を保育施設に利活用します。

- 区立公園
- 区立学校
- 高齢者施設
- 区職員福利厚生施設 など

さらに、民有地も含めて取り得る方策は全て講じ、保育施設の増設を図っていきます。

～ 今後のスケジュール（予定） ～

5月に策定予定の「(仮称)すぎなみ待機児童緊急対策2016」において、保育施設に利活用する施設を明らかにし、整備にかかる経費を補正予算案として区議会に提案します。

(3) 区民のみなさまのご理解・ご協力が不可欠です

区立施設の保育施設への利活用には、区民のみなさまの待機児童対策へのご理解・ご協力が欠かせません。さまざまな方法で、区の待機児童問題の現状と取組内容をみなさまにわかりやすくお伝えしていきます。

- 広報すぎなみ
 - ・5月1日号「保育緊急事態宣言」
 - ・特集号「(仮称)すぎなみ待機児童緊急対策2016」の全戸配布（予定）
- ポスター掲示、チラシの配布、など

(4) 待機児童問題に「オール杉並体制」で、向き合います

「(仮称)すぎなみ待機児童緊急対策2016」を確実に実施するため、区長を本部長とした緊急対策本部を組織し、全庁を挙げて取り組みます。

